

科目名		基礎デザイン実習A							年度	2024
英語科目名		Design Practice 1A							学期	前期
学科・学年		デザイン科 グラフィックデザイン専攻 1年次	必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員		しんぼけいこ	教員の実務経験		有	実務経験の職種		イラストレーター		
【科目の目的】										
・基礎的な描画技術・観察力・表現力を身につける ・描画技法の基礎知識を理解できる ・自分の作品を言語化し人に説明することができる										
【科目の概要】										
鉛筆によるデッサンやスケッチを通じて観察力、基礎描写力を身につける										
【到達目標】										
A. 技術力/モチーフの特性を理解し、形態を正確に描画できるようになる B. 表現力/トーンの幅を広く持ち、質感・量感、明暗および空間表現ができるようになる C. 知識力/パースに関する基礎知識を理解し制作に活かすことができるようになる D. 遂行力/制作時間と提出期日を考えてスケジュール管理と課題提出ができるようになる E. 社会性/主体的に授業参加をして、自分の作品を言語化し人に説明するコミュニケーション力を身につける										
【授業の注意点】										
課題制作が中心である。きわめて高い集中力を要する作業が多いため、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。限られた期日までには制作物を提出すること。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は不合格とする。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	モチーフの特性を理解し、形態をよく観察して正確かつ丁寧に描画している	モチーフの特性理解が必要と考え、正確さを目指して丁寧に制作している	モチーフの特性理解と形態の正確さが必要と考え、描画している	モチーフの特性理解と形態の正確さが必要と考え描画しているが、形態描写が不正確	モチーフの特性理解が不足しており、形態描写が著しく不正確					
到達目標 B	モチーフが置かれた環境条件を考え表現内容を工夫し、描画材を活かした制作をしている	モチーフが置かれた環境条件に合わせた表現内容を工夫し、丁寧に制作している	モチーフが置かれた環境条件に合わせた表現内容を工夫し、制作している	モチーフが置かれた環境条件に合わせた表現内容に取り組もうという努力が感じられる	モチーフが置かれた環境条件への理解が不足し、表現につながっていない					
到達目標 C	パースの基礎知識を理解し、描画材を活かして誤りなく丁寧に制作している	パースの基礎知識を理解し、丁寧に制作している	パースの基礎知識を理解して、制作をしている	パースの基礎知識を理解はしているが、制作への反映が不足している	パースの基礎知識を理解と、制作への反映が不足している					
到達目標 D	制作時間を考えて内容を工夫し、スケジュール管理と課題提出ができる	制作時間と提出期日を考えてスケジュール管理と課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない時がある	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない					
到達目標 E	主体的に授業参加し、自分の作品を言語化して丁寧に説明できる	休まず授業参加し、自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができない時がある	自分の作品を言語化して説明することができない					
【教科書】										
課題ごとに資料を用意する										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
課題80% 提出された課題を総合的に評価する平常点20% 授業態度によって評価する										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		基礎デザイン実習A			年度	2024
英語表記		Design Practice 1A			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	鉛筆の削り方線の線	描画材の扱いを知り、描く為の鉛筆のあしらいに慣れる。また観察のポイントを理解する	1 デッサン「手」	時間内に手を動かして続けることができる	2	
			2 観察する	客観的な視点でモチーフをよく観察する		
			3 発表	作品を発表できる		
2	グラデーション立方体模写	鉛筆で描ける明暗の幅を理解する。模写を通して、どこにどのような描線で表現をすれば良いかを理解する。	1 グラデーション	時間内に手を動かして続けることができる	2	
			2 丁寧な作業	丁寧にむらなく塗ることができる		
			3 グラデーション表現	グラデーションを表現することができる		
3	デッサン「石膏の立方体」	パースの基本概念を理解し、その考えのもとにモチーフを観察して表現する	1 石膏の立方体	パースに狂いがなく表現することができる	2	
			2 光の調子を表現	鉛筆の濃淡で光の調子を表現することができる		
			3 発表	作品を発表できる		
4	デッサン「段ボール箱」	パースの基本概念を理解し、その考えのもとにモチーフを観察して表現する	1 段ボール	パースに狂いがなく表現することができる	2	
			2 光の調子・素材の質感を表現	鉛筆の濃淡で光の調子や素材の質感を表現することができる		
			3 発表・提出	作品を発表し、提出できる		
5	デッサン「バレーボール」	パースの基本概念に基づき、球体の構造を理解する。その理解のもとにモチーフを観察して表現する	1 バレーボール	球体の構造を理解し描くことができる	2	
			2 光の調子・素材の質感を表現	鉛筆の濃淡で光の調子や素材の質感を表現することができる		
			3 発表・提出	作品を発表し、提出できる		
6	デッサン「紙コップ」	パースの基本概念に基づき、円柱形態の構造と描き方を理解する。その理解のもとにモチーフを観察して表現する	1 紙コップ	パースと形態に狂いがなく表現することができる	2	
			2 光の調子・素材の質感を表現	鉛筆の濃淡で光の調子や素材の質感を表現することができる		
			3 発表・提出	作品を発表し、提出できる		
7	デッサン「円柱と布」	パースを応用的に取り入れ、異なる質感を持つ二つのモチーフを同じ空間内にあるように表現する。	1 円柱と布	二つのモチーフの関係性をパースの考えを用いて表現できる	2	
			2 光の調子・素材の質感を表現	鉛筆の濃淡で光の調子や素材の質感を表現することができる		
			3 発表・提出	作品を発表し、提出できる		
8	デッサン「石」	自然物を通して、観察眼をさらに高めてその特徴を掴み、表現する。	1 石	自然物の持つ特徴をつぶさに観察することができる	2	
			2 光の調子・素材の質感を表現	鉛筆の濃淡で光の調子や素材の質感を表現することができる		
			3 発表・提出	作品を発表し、提出できる		
9	デッサン「野菜or 果物」	身近な自然物を通して、観察眼をさらに高めてその特徴を掴み、表現する。	1 野菜／果物	自然物の持つ特徴をつぶさに観察することができる	2	
			2 光の調子・素材の質感を表現	鉛筆の濃淡で光の調子や素材の質感を表現することができる		
			3 発表・提出	作品を発表し、提出できる		
10	デッサン「3点モチーフ」	3つの異なる質感のモチーフの関係性を表現し、それぞれの特徴を正確に写し取る	1 3点モチーフ	絶えず観察し、手を動かすことができる	2	
			2 正確に描く	それぞれのモチーフを正確に描くことができる		
			3 光の調子・素材の質感を表現	鉛筆の濃淡で光の調子や素材の質感を表現することができる		
11	デッサン「3点モチーフ」	3つの異なる質感のモチーフの関係性を表現し、それぞれの特徴を正確に写し取る	1 3点モチーフ	絶えず観察し、手を動かすことができる	2	
			2 正確に描く	それぞれのモチーフを正確に描くことができる		
			3 光の調子・素材の質感を表現	鉛筆の濃淡で光の調子や素材の質感を表現することができる		
12	デッサン「3点モチーフ」	3つの異なる質感のモチーフの関係性を表現し、それぞれの特徴を正確に写し取る	1 3点モチーフ	絶えず観察し、手を動かすことができる	2	
			2 正確に描く	それぞれのモチーフを正確に描くことができる		
			3 発表・提出	作品を発表し、提出できる		
13	デッサン「複数モチーフ」	4点以上の異なる質感のモチーフの関係性を表現し、それぞれの特徴を正確に写し取る	1 複数モチーフ	絶えず観察し、手を動かすことができる	2	
			2 正確に描く	それぞれのモチーフを正確に描くことができる		
			3 光の調子・素材の質感を表現	鉛筆の濃淡で光の調子や素材の質感を表現することができる		
14	デッサン「複数モチーフ」	4点以上の異なる質感のモチーフの関係性を表現し、それぞれの特徴を正確に写し取る	1 複数モチーフ	絶えず観察し、手を動かすことができる	2	
			2 正確に描く	それぞれのモチーフを正確に描くことができる		
			3 光の調子・素材の質感を表現	鉛筆の濃淡で光の調子や素材の質感を表現することができる		
15	デッサン「複数モチーフ」	4点以上の異なる質感のモチーフの関係性を表現し、それぞれの特徴を正確に写し取る	1 複数モチーフ	絶えず観察し、手を動かすことができる	2	
			2 正確に描く	それぞれのモチーフを正確に描くことができる		
			3 発表・提出	作品を発表し、提出できる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等